

# あなたの助けを必要とする人たちがいます



鹿屋市役所 福祉政策課  
にしとか さき  
西高 沙希 さん

様々な場面で手助けを必要としている人がいます。中には、外見では判断が難しい場合もありますので、相手を理解しようとする思いやりの心を持ち、困っているようであれば、声を掛けるなどの行動をお願いします。



このような場面で「思いやりの心」が必要です

## ①バス等の公共交通機関

疲れやすかったり、同じ姿勢を保つのが困難、優先席に座っているのを不審な目で見られてストレスを受ける人がいます。

優先席に座っている理由があります。必要に応じて席を譲りましょう。



## ③事故や災害時

視覚や聴覚に障がいがあり、周囲の状況判断が難しい人や、肢体不自由等により自力での迅速避難が難しい人がいます。

状況をゆっくり分かりやすく説明し、安全に避難ができるよう支援しましょう。



## ②身近な危険

声やクラクションに気付かなかつたり、突発的な出来事に対して臨機応変に対応することなどが困難な人がいます。

安全を確保できるように援助や配慮をお願いします。



ヘルプマーク・ヘルプカードを受け取った人たちより

## ヘルプマーク・ヘルプカードを配付しています

市の窓口で、ヘルプマーク・ヘルプカードの配付を行っているので、お気軽にお声掛けください。

- 対象者  
障がいや手帳等の有無は問わず援助や配慮を必要とする人

- 配付場所  
市福祉政策課、各総合支所住民サービス課、市保健相談センター



▲市ホームページ



支援がほしいときに目につくよう、常に携帯したいと思います。

目が見えにくいことや、体がうまく動かせないことがあるので手助けをもらえると嬉しいです。



ヘルプマーク・ヘルプカードを取りに来られる人は、若い人から高齢の人まで様々な年代の人がいます。

あなたの思いやりの心が困っている人たちの助けになります

# ヘルプマーク 知っていますか??



ヘルプマークは援助や配慮が必要であることを周囲に知らせることで、支援を得やすくなるように作成されたマークです。ともに支えあい、いきいきと暮らせるまちを実現するため、「手助けが必要な人」と「手助けができる人」をつなぐヘルプマークについて紹介します。 市福祉政策課 Tel 0994-31-1113

ヘルプマークを見かけたら温かい支援を

障がいのある人や難病の人、妊娠初期の人など、外見からは分からなくても援助や配慮を必要としている人々があります。そこで県は、援助を必要としている人が困ったときに、具体的に必要な援助や配慮の内容を記載できるヘルプカードの配付を令和元年7月から開始しました。

しかし、マークが小さくて分かりづらく、実際の支援につながりにくいという意見もあったため、県では、令和3年7月から新たに、かばんなどの見える所に着けることで、援助が必要なことを一目で周りに知らせることができるヘルプマークをヘルプカードとあわせて配付を開始。

援助や配慮を必要とする全ての人々がヘルプマークやヘルプカードを受けとることが出来ます。持っている人が困っているのを見かけたら、声を掛けるなど、思いやりのある行動を心掛けましょう。

支援が必要です!!

### ヘルプカード

裏面に緊急連絡先や必要な支援等を記載することができます。



### 裏面

わたしが手伝ってほしいこと  
(記入例)  
私は視覚に障がいがあります。災害時には周囲の状況を教えてください。電車やバスで席を譲ってください。

### ヘルプマーク

ストラップを利用して、かばん等に付けて使用します。また、付属のシールに必要な支援を書き込み、裏面に貼り付けることもできます。

